

「交流文化施設のありかた中間報告」に対する

市民公聴会 意見 整理表

[開催結果の概要]

回	開催日	曜日	時間	開催場所	参加者数
	5月13日	水	19時から	真田公民館 大ホール	69
	5月20日	水	19時から	武石公民館 コミュニティホール	50
	5月21日	木	19時から	上田市民会館 2階大会議室	21
	5月25日	月	19時から	上田創造館 文化ホール	50
	5月26日	火	19時から	丸子ふれあいステーション 会議室	53
	5月28日	木	19時から	上田市民会館 2階大会議室	42
	5月30日	土	14時から	上田市民会館 2階大会議室	51
	5月30日	土	19時から	上田市民会館 2階大会議室	27
合計					
363人					

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
1-1	5月13日	真田公民館	財政の見通し、税収の伸び率をどのくらい見込んでいるのか。	H23年度までは概ね2～3%の税収減を見込む中で大まかな歳入総額を設定している。
1-2	5月13日	真田公民館	平成27年度には、文化・芸術振興費と交流文化施設整備の市の歳出総額に占める割合が1.3%から2.5%に増えるが、市全体の施策の中でその分減るものは何か。	まず、現市民会館及び山本県記念館分の減額を見込んでいる。 必要な事業は行うが、市全体として各事業の選択と集中には努める必要がある。 合併後計画的に取り組んできている人件費の削減も大きな内容と考えている。
1-3	5月13日	真田公民館	東信濃地域も含めた内容であれば、東信の市や県からも補助してもらおうべきではないか。	施設のありかたとして、東信濃地域という広いイメージの中での位置づけとして考えられている。 なお、県での整備は考えていない。
2-1	5月13日	真田公民館	基本理念や方向性は素晴らしく、胸がわくわくするような思いがある。(感想)	
2-2	5月13日	真田公民館	起債残高の表について、他の事業も想定して作られたのか、またその内容は、	個別の事業を見込んでいるのではなく、起債残高を減らしながら、市民にとって必要な事業はきちんと行っていく見込みで想定している。
2-3	5月13日	真田公民館	検討委員の構成について、市民会館の利用者団体などがメンバーに入っているか。	検討委員25名の中には、市内文化団体として上田市文化芸術協会から2名、整備陳情団体として信州上田芸術文化会館建設研究市民の会、魅力ある新市民会館等の実現を考える会、県中学校吹奏楽連盟から各1名入っていただいている。
2-4	5月13日	真田公民館	運営・管理経費の平均値が算出されているが、根拠の事例について、どのように選出したか。面積の16,000㎡はどの施設の面積か。	16,000㎡にはホール、美術館、交流施設、管理部門を含む施設全体の面積として想定されている。 経費の事例は、まつもと市民芸術館や岡谷市カノラホールのほか県外の主な施設の中で、建設が平成元年以降で、客席数が今回の計画に類似した施設を抽出している。
2-5	5月13日	真田公民館	議会の意見書はどのように反映されているか。	意見書は第7回の検討委員会へ提出し、報告してある。 今後も整備基本計画を策定する中で、議会とも調整・連携しながら整備を進めていきたい。

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
2-6	5月13日	真田公民館	平成14年度に現市民会館の大改修を行っているが、今回の施設計画をどのように考えていたのか。	現市民会館は45年が経過し老朽化している。使い勝手も悪く、日常の利用にも支障が出てきており、利用者・市民等からの要望も多く寄せられたため、改修を行った。 H14年度の改修は今回の計画を踏まえ、10年程度の延命を狙って実施した。
3	5月13日	真田公民館	報告書にはメリットだけ書いてあるがデメリットはどうか。「未来の子どもたちのため」とあるが、少子高齢化の中、デメリットも考える必要がある。 借金を子どもたちの将来に残すべきではない。子どもの将来をどう考えるのか。	市としても、想定の実業費全てを使うという事ではなく、スリム化が可能か意を払っていく。 子供の未来について、この施設は「育成」の上に「鑑賞」、「創作」、「交流」があり、大きな意義を持っている。小中学校の先生からは、市内の生徒が一同に会する施設が必要とも言われている。 文化施設は、多目的な意義があり、利用してもらうことで価値を共有してほしい。上田の偉人の顕彰や障害者のアートなどで上田の特徴を引き出すことが出来る。中間報告からは、上田の魅力について、新発見することができた。 市政全体の各種整備の中でも、合併時には多くのハード整備事業が要望されていたが、これらは引き続き精査しながらも整備していく。このような中での交流・文化施設であることを理解していただきたい。
4	5月13日	真田公民館	松本のような素晴らしいホール、ゆとりのある椅子など、30年、50年後のことを考えて設計してほしい。 将来後悔しないようにしっかり作ってほしい。(意見・要望)	
5	5月13日	真田公民館	新規事業を想定すれば、起債残高は大きく変動することを踏まえておくべき。 真田町で築いてきた独自の文化にも配慮した文化施策が必要。 規模を決めるためには現在の利用状況が重要だが、そのデータが示されていない。 市民会館の利用者としては、市民劇場が長い歴史を持っているため、そうした所からの意見も聞くべき。 財政面への配慮として、議会の意見書を重く見るべき。市民の立場に立った計画を。(意見・要望)	

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
6	5月20日	武石公民館	(中間報告の内容は、文化という意味で良いと思う。また、人が財産と言う意味でも良いと思う。(意見・要望) 美術館が計画されているが、展示する作品が重要。武石には(美ヶ原)高原美術館があり、箱根の本館が所蔵しているピカソの絵が飾られていたこともある。こうしたところとの連携を考えてはどうか。人を呼べるということを考えてもらいたい。	今のお話は大変重要。市としても、美術館では、民間、公的を問わず他の美術館と交流していきたいと考えている。 それには学芸員の力が重要であると思っている。優秀な学芸員を育てる、雇用する、また育成することも市として考えていきたい。
7-1	5月20日	武石公民館	施設を作ること自体には反対していないが、経過の中で疑問を抱いている。 合併協議の中で「JT跡地への市民会館の移転は決まっていな、改修も行ったため建て替えない」と聞いていたが、合併した途端にJTとの話が進んだ。この点に強い不信感がある。	経過を申し上げると、旧上田市としては、JTの開発に関して早急な判断を迫られた状況がありながらも、合併前に駆け込みで計画を決めるようなことはしていない。 合併後一から検討を始め、H18年5月には市民公聴会などで議論をし、また利活用研究会でも議論をしていただいたうえで、19年1月に交流・文化施設等の整備の方向性を示した。 旧上田市のときから決まっているとか、今後も含めて市の方で全て決めてきたということはない。
7-2	5月20日	武石公民館	最大事業費の150億円は積上げて算出したのではなく、合併特例債を目一杯使うという前提での数字ではないか。	合併特例債についても、380億円発行が認められている中、経済状況などから見て、8割を目安とする中で当時合意に至った。今回も目一杯使うということではなく、合併後これまで行ってきた事業を含めても、今後さらにまだ特例債が充てられる枠が残っている。 150億円は上限であり、施設の規模などもまだ詳細に決まっていない。報告にもあるように財政状況に配慮しながら、借金を減らしつつ、健全財政を維持して他の事業も行っていく。
8	5月20日	武石公民館	施設の管理運営について、良い学芸員が必要とのことだが、指定管理者が3年で変わった場合、この学芸員の位置づけはどのように考えているか。	中間報告では、指定管理をはじめ民間活力の導入が必要とされている。実際にはまだ未確定な部分が多く今後検討していくが、市としては市民の負担を減らす観点から、指定管理者を念頭に検討していきたい。 但し、指定管理の受け皿となるところがあるのかは課題。美術館には学芸員、ホールには舞台技術者が必要となるが、事業の計画や展開を考えたとき、3~5年で変わってしまうと円滑な運営が困難な場合もあるため、指定管理のあり方には十分な議論が必要と考えている。

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
7-3	5月20日	武石公民館	中間報告の内容は事務局でまとめたものか。	検討委員会は昨年8月から検討を開始し、専門委員会の8回とあわせ計18回の検討を行ってきた。今回の報告書はこれまでの会議で出された検討委員の意見、アンケート調査、利用者懇談会などでの意見等を踏まえて事務局で案を作成し、それを検討委員会に提案した。 最終的には、検討委員会の総意でまとめられたものである。
9-1	5月20日	武石公民館	趣味で絵を描いており、上田の美術団体にも入っている。上田で展示会を行う場合、十分な設備を持った施設がないため、新しい施設では、大きな絵画が飾れるなど、大規模な展覧会も可能なものにしてほしい。(意見・要望)	
9-2	5月20日	武石公民館	中間報告に子どものことも書かれているが、上田市街地の子どもはいいが、武石から行くと時間がかかる。アクセスのための道路整備も一緒に考えてほしい。	武石地域からのアクセスについては、時間の問題と料金の問題がある。道路の新設はすぐには出来ないが、大屋の渋滞緩和に向けた国道整備は具体的な方向に進んでいる。 いずれにしても、子供たちに大いに利用してもらうことは大切なことであり、教育委員会とも話し合いながら、出来るだけ利用されるように工夫していきたい。
7-4	5月20日	武石公民館	学芸員や自主事業の企画職員の登用も考えると22,000円では収まらないだろうと思う。 ランニングコストに関してはもっとシビアに見たほうがいいのでは。	22,000円は、平成元年以降開館で同規模の県内外の施設を選んで算出しているが、あくまでも平均値であるため、ランニングコストについては慎重に計画していきたい。
10	5月21日	市民会館	中間報告書は美辞麗句が多く具体的ではない。 JT跡地に商業施設や文化施設全て集めてやるのは無理。 美術館は街中にあるべき。 市長はよくスピード感というが議会や市民の意見を聞いてゆっくりやるべき。	この計画はこれまでも庁内で幾度も検討を重ね、議会にも諮って決めてきた。 今回の中間報告も、昨年からの検討委員会の皆さんにお願いし、議論を重ねた結果として市へ出していただいたものである。
11-1	5月21日	市民会館	今日来ている人が少ないが、これで市民の理解を得られたとは思えないのではないか。	市民の声を聞く場をこれまでも設けてきているが、今日の状況を踏まえ、市としても反省を含めて今後のあり方を検討していく。
11-2	5月21日	市民会館	公聴会やパブリックコメントで出された意見はどこで発表するのか。検討委員会に報告するだけでは市民に問題意識が広がらない。	市民公聴会やパブリックコメントでの意見は検討委員会へ報告するほか、市の考え方も含めて市民の皆さんへも報告していきたい。

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
11-3	5月21日	市民会館	現上田市民会館がいっぱいになるのは、年4回しかない。そんな状況で1,500、1,700席とは大きすぎるのではないか。	市民会館の席数は1,330席の中で、95%以上である1,260人以上の入場が昨年4回あった。 また1,000人以上の入場で見ると、H20はおそらく23件の利用がある。 施設は老朽化し設備も使いづらい状況であり、現状ではフルオーケストラや有名アーティストが来れない状況。新しくなることで更に利用が増えることも考えられる。
12-1	5月21日	市民会館	東信濃まで見据えた150億の施設は県民文化会館規模、市民会館とどう違うのか。 なぜそんな大規模な施設が必要なのか。	上田市民の文化圏は地域全体に広がっている。地域の広がりと中心市街地の活性化も視野に入れ、上田で行う事業に市外からも訪れてもらいたい。 市民会館との違いと言う意味では、ただ単に人が集まるといふ事で無く、例えば鑑賞によって新しいエネルギーが生まれ、この地に生きていてよかったと思えるようなありかたを考え、市民会館以上の機能を持たせるよう取り組んでいきたい。
12-2	5月21日	市民会館	アリオを含めた周りの道路の状況はどのように考えているか。	交通量については、JT開発に関して解析調査を行っており、調査結果では、一時的な混雑はするが、通常は混雑しないものと考えている。 堤防道路について、常田新橋まではもうすぐ完成、JT開発地に隣接する部分の540mは今秋完成。それ以後もH24年までに1km先まで延長。駅前の通りもH21年度中に中常田線とながり、国道143号も三好町駅の周辺まで拡幅等の整備をH26年度までに行う。道路網は順次整備が進んでいる。
12-3	5月21日	市民会館	上田市そのものが交流文化都市であり、それぞれに歴史がある。それを大事にしていくことが大切。 建設の時期等については、市民の意見をよく聞いてもらいたい。(意見・要望)	
13	5月21日	市民会館	人は誰かが努力する姿に感動を受けるものと考えている。 松本市はすばらしい文化都市で、昭和のころから文化表彰を設け、文化的な人を認め表彰してきており、地道な努力、下支えしている人を評価している。上田市もそういう地道なことが必要で、そのことが交流文化施設につながると思う。(意見・要望)	

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
14-1	5月25日	創造館	検討委員会の議事録にないもので中間報告書が出来ているのは、なぜか。	中間報告は検討委員会の議論が基となっている。 これまでに10回の検討委員会、8回の専門委員会の中で委員から出されたご意見、市民アンケート、利用者懇談会の意見等を事務局で素案としてまとめ、検討委員会の総意でこの中間報告となった。
14-2	5月25日	創造館	上田市の人口が減っている点、また公債残高等にも配慮しているか。 また、合併特例債125億のうち後年度交付税措置されるといふ87億円は、明確に来るとわかるのか。	当然、近年の人口動態を踏まえながら、また、資料にもあるように今回起債残高の推移を示した。 交付税は自治体が事業を積上げた上で不足する部分を、国が用途を特定せずに交付するお金だが、合併特例債の返済額もこの交付税の算定根拠となる。
15	5月25日	創造館	美術館、文化施設に賛成。丸子の住人であるが、合併し上田市民であることを誇らしく語りたい。 松本市と安曇野市は文化の拠点都市としてうらやましい。まつもと市民芸術館や美術館は県内外から観光バスでやってくる。経済効果も大きい。安曇野市の豊科近代美術館では2年に一度全国巡回美術展を開催している。 上田市は山本鼎など、文化の高い市だが施設面が非常に弱い。金には替えられない精神性を重んじてもらいたい。	旧上田市時代から市民会館について、学校の大会ができない、興行が来ないなど、様々な指摘を受けてきた。 今回、文化芸術にかける市の財政的なスタンスとして総額の2.5%と言う数字を示したが、文化や芸術というものは未来に向けて残すべきものと考えている。 ただし身の丈にあったものを作ることは当然であるし、市財政に対する負担も考えて、起債残高もこれまで努力と工夫を凝らして減らしてきている。 したがって、市民の皆さんの中には心配される声もあるが、市としては総合計画にある他の事業も含めて行ないながら、文化芸術振興に対しても、今まで以上にお金をかけていくことが可能になっていると認識している。
16	5月25日	創造館	所属している合唱団体には佐久穂町から坂城町まで加入者がいる。東信の中核になってほしい。 合唱で使える施設は上田市の中で限られている。現市民会館は合唱クラブには大きすぎ、文化会館の500席でも大きい。音楽村の200～300席がちょうどいい大きさが、交通の便が悪く使いづらい。 小ホールは平土間となっているが、音楽村のような階段・ベンチ式を希望。(意見・要望)	

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
17	5月25日	創造館	子育て世代は、会社勤めで忙しくこのような場にも参加出来ず交流文化施設についてもほとんど知らない。市民投票をして市民に賛否を問うべき。 これに大金を使うのであれば、小学校、中学校の建て替えが先ではないか。合併特例債は学校建設には使えないのか。	小中学校は老朽化して改築や耐震化が必要な例も多い。学校建設の財源としては、まず、国の補助金、残りは起債として義務教育債、その残りを合併特例債が使える。 学校の建設・改修にも合併特例債を使いながら、これまでも最重要課題の一つとして精力的・計画的に進めてきている。
18-1	5月25日	創造館	合併特例債が使える今、施設整備は最後のチャンスと思っている。大小ホールとも東信の中核として十分な大きさと思う。(意見・要望) 機能的には多目的ホールといっても、何を一番の主体と考えているのか。	中間報告では多目的ホールとして音楽、演劇からコンベンションまですべてに対応したいが、アンケートなど市民の意見では音楽を希望する声が多く、音響を重視したホールを考えている。
18-2	5月25日	創造館	駐車場400台では足りない。駅からの直接アクセスは考えられないか。	駅周辺を含めて道路等の整備は着実に進めてきている。
19	5月26日	丸子ふれあいステーション	現市民会館の席数と駐車台数はいくつか。 詳細に計算していると思うが、席数については慎重な検討を望む。	開館から45年が経過。H6年に当時1,500席であった座席の改修を行い現在は1,330席、駐車台数は90台となっている。
20-1	5月26日	丸子ふれあいステーション	現市民会館は年に何回満席になっているか。	満席を95%以上、1260席を超えたものとする、H18で4回、H19で6回、H20で4回。 満席に近い1,000席を超えたものでは、H18年24件30回、H19年20件24回、H20年23件となっている。
20-2	5月26日	丸子ふれあいステーション	人にやさしいと言うが、子どもに対する医療費が東御、長和にくらべて低い。老人施設の入居待ちも1,100人いると聞いているが、これで人にやさしいと言えるのか。医療、福祉、教育などが必要ではないか。	教育面で言えば、市内の小中学校は各地域で特色を活かしたものとなっており、また、児童、生徒ひとりにかかる費用という意味でも、他市と比べて劣るという事はない。 人にやさしいと言っても、様々な面があり総合的に見る必要があるが、例えば子供の医療費としては、県と歩調を合わせ、未就学児は通院、入院費とも無料。それ以上の補助は各自治体でバラツキがあるが、当市は県下他市に先んじて小学6年まで無償としている。 特養について、1,100人という数字は申請が重複しているため正確な数字とはいえない。皆さんのニーズを基に施設を作りたいが、一方で介護保険に跳ね返ってしまうため、整備と負担の両面で考えていく必要がある。

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
21	5月26日	丸子ふれあい ステーション	文化を育てると言っているが、人が育たないと文化も育たない。産院の問題、資源循環型施設などスピード感を持ってやってほしい。税収が下がっていく中で本当に大丈夫か。	税収は昨年比で減少を予想しており、今後の経済の見通しも不透明。アンケート調査でも、財政面へのご心配が多かったため、今回財政的な数字も示している。H15の835億という起債残高では、市民の負担が50%以上あったが、大型のハード事業もしながら、借金の返済に積極的に努めてきた。その結果、市民負担の率が40%に減っている。このことから他の大型事業を行っていけるという事。 資源循環型施設については、この10月にあり方を含めて見直しを行う。産院については今年の4月に建設準備室を設置した。ただし、医師の確保はまだ出来ていない。全国的に募集している。
22-1	5月26日	丸子ふれあい ステーション	広報うえだで概要が示されたが、財政的にかなり慎重になっているものの、中身はかなり具体的、詳細に示されており、ありがたいと感じた。ユニバーサルデザインは老人など広く配慮することと聞いてほっとした。(意見・要望)	
22-2	5月26日	丸子ふれあい ステーション	上田市のシンボルとは何を指すのか。 150億をかける事業であり、同時に合併に伴う地域の活性化も図ることが必要だが、どのように考えているか。	上田市のシンボル拠点としては、市民が愛し、誇りをもてる施設となることを考えている。具体的にはこれから市民の皆さんからの意見をもらいたい。 運営のあり方についてもこれらに構築していくか、市だけではなく、市民の活力が必要で、市民と共に歩んでいくことが大切。現在の市民会館は、貸館事業しかなく、市民と共に何かを行うようにはなっていない。新たな施設では市民と共に、そこで人も育てていけるようにしたい。
23	5月26日	丸子ふれあい ステーション	中心市街地に誰もが訪れるようにするため、また子どもや高齢者が利用できるようにするために、例えばイオンの循環バスなどのような具体的な案があると思うがどうか。	JT跡地全体について、また、シンボルの意味合いとして、東信濃全体から人が呼べ、隣接の商業施設を含めた中で誘客が出来る。その人たちが上田のまちを歩くことで中心市街地の活性化にもつながる。 またJT開発地への出店者には、中心市街地活性化の協議会にも入っていただき、市街地の商店と共存共栄してもらう方向でいる。アリオの説明会の中でも循環バス運行の説明があり今後協議されていく。

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
24-1	5月26日	丸子ふれあい ステーション	16万の市としては市民会館は必要。反対ではない。ただし、教育関係について、耐震診断の結果から今後補強が必要になる学校が多い。中国での大地震から不安を感じている。小中学校、地域の安心安全がまず第一ではないか。 今後施設の建設と平行して耐震化の工事が行われると思うが、すべての耐震化が終わる時期と金額を教えてください。	小中学校の安全安心は大切。現在も前倒しでやっている。しかし耐震診断には県の判定会が必要で、時間がかかっている。可能な限り早くやりたい。補強工事は一度に出来ないため計画的に早期に行いたい。 事業費については、診断の結果次第であるが、校舎1棟について1～1.5億を見込んでいる。 今後も優先順位をつけながら、児童・生徒の安全にかかわることを重視し施設の整備を行っていきたい。
24-2	5月26日	丸子ふれあい ステーション	自治基本条例も検討される中、大きな事業には住民投票が必要ではないか。	住民投票について、大事業だからやるとは考えたくない。自治基本条例についても、市民の合意形成が重要。本事業は政治的というよりも政策的な判断が必要であり、最後に投票をして決めるのではなく、反対の皆さんとも向かい合って中身を説明しながら合意を得ていくことが重要。よって現状で住民投票は考えていない。
25	5月26日	丸子ふれあい ステーション	市民負担についてよく分からない。単純に言うと、一人当たりいくら増税になるのか。	市の負担額48億円を16万市民で割ると1人あたり3万円の負担となるが、これは増税という言う意味ではない。
26	5月26日	丸子ふれあい ステーション	音楽を愛している。先日もセレスホールにウィーン交響楽団が来たが素晴らしかった。このときチケットはすぐに売り切れたが、800席のため市が負担して行われた。1500～1700席あれば、市が負担しなくても来てもらえるのではないか。私は長野から松本までどこへでも聞きに行っているが、早く、素晴らしい曲を素晴らしい施設で聴きたい。そのために施設が早くできることを願う。 施設は外観より機能を重視してほしい。周辺部の高齢者が施設にいける方策も考えてほしい。	ただ建物を建てるだけとは考えていない。 今、未来に向けて何ができるのか考えている。ひとつのテーマとして、市の文化芸術予算が現在の約1%から最大で2.5%になる。医療、教育、文化と幅広い面があるが、今まで以上に文化にお金をかけていきたい。 セレスについてはうらやましく思っている。今の市民会館では興行で来てくれるところがなく、一方セレスはいいメニューを揃えている。シンボルとは、東信地域から広く人を呼びたいということで、これが市内だけの施設でここだけが輝けばよいということではない。まわりの施設とも役割分担が必要で、高齢者の足を確保し、子ども達の教育面も視野に入れて考えていく必要がある。 また、この開発には特徴を持たせたい。上田市は晴天率が高いため太陽光発電は有効であり、こうした環境をテーマとすれば、官民協働の土地区画整理事業として全国的にも注目されるゾーンとなる。今後もいろんな節目において意見をいただき、我々としても今後とも最大限の努力をしていきたい。

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
27-1	5月28日	市民会館	美術館では山本鼎や郷土作家のことが出ているが、出来れば山梨県立美術館のミレーのような世界的名画を展示してほしい。絵の選定は市民に選ばせてほしい。(意見・要望)	
27-2	5月28日	市民会館	施設が出来たら終わりではなく、市民と一緒に参加できる仕組みを。(意見・要望)	
28	5月28日	市民会館	松本市の文化水準は高く、学都、楽都と呼ばれる。山本鼎らは市の財産。版画大賞展には著名な作家も参加している。これはさらに広げてほしい。そのための施設が必要。神川小には自由画運動の資料室が残っていて県外からわざわざここを訪れる人もいる。このことも大事にしてほしい。石井鶴三にしても山本鼎の影響で上田に訪れたが、石井鶴三のおかげで県展が始まった。鶴三に教わった人も多いがその方々は高齢化している。 また、石井鶴三の資料は松本市美術館へ寄付されてしまった。上田にも作品があるはずなので、市民に公開しPRしてほしい。上小教育会も鶴三の研究をしているので、他の美術館と連携も必要。	新しい施設に美術館があるが、郷土の偉人は財産である。大事にしていき、大勢の人に見てもらいたい。それらを出来るだけ組み込めるよう意見が反映できるようにしたい。
29	5月28日	市民会館	中間報告での美術館の設置や、子どもたちの未来のために、と言う内容は良い。子どもたちがワークショップなど体験できる施設にしてほしい。そこで創作してそこで発表できるように。子どもが本物にふれることが、大切。学校の授業としても鑑賞させたい。(意見・要望)	
30-1	5月28日	市民会館	文化芸術とは何か。「教育」や「生活」なども含まれるのか。	文化という言葉は、文化、芸術、芸能まで広げて考えたい。定義は難しいが、住民には具体的に示したい。舞台発表が基本となっているが、これまで、出来なかった興行をプラスしたい。 郷土の偉人について、トータルで上田の文化力を表すところがなかった。それを展示する場として意義がある。
30-2	5月28日	市民会館	県民文化会館はホクト文化ホールといっているが、この施設も商業的な視点を持って考えているのか。	ネーミングライツ(命名権)についてはまったく白紙。今後財源としていろいろな方法を検討していきたい。単に箱物ではなく、市民に愛していただけようしたい。施設については、民間の力、寄付、市民債等今後考えていきたい。

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
30-3	5月28日	市民会館	予算が150億の予定だが、50億はあまると思うので、運営の方へまわすべき。財政面からも、5億でも10億でもお金を残し運営面へまわすべき。	事業費については、施設規模がはっきりしていない。運営費も視察した施設などの状況から参考に算定したもの、建設費の上下も十分ある。 今回は、文化芸術に対しての行政の姿勢を示した。これまで、文化にかける比率が、1～1.3%だったものを、借金も含めて最大で2.5%を文化に予算配分していきたい。
31-1	5月28日	市民会館	基本設計の段階で使用者へ意見を求めるのか。県内の有名なホールにも本番中にリハーサル室の音が漏れるところがある。	検討委員会での議論でも、専門委員会を含め、いろいろな立場の意見を聞いている。 今後も、いろいろな団体、専門家から意見を聞く場を設けていきたい。
31-2	5月28日	市民会館	箱物行政とならないように、スタッフにお金をかけてもらいたい。県内には音響、照明などの専属のスタッフがないところがある。スタッフがいてホールが活きる。	スタッフ、学芸員などの人材は大切。人材を育成するほかに、外から探してくる方法もある。
31-3	5月28日	市民会館	オープン企画などで、初めはいいが、2年目以降閑古鳥ということが多く、この地区の文化レベルを上げるには5年から10年必要。 ホールでの文化力向上のために文化基金を設け、市民音楽祭を開催したらどうか。文化交流基金などで文化力の向上を目指してほしい。	現在の施設は興行的に使ってもらえず残念だが、新しい施設ではいろいろな使い方が考えられる。計画的にムードが盛り上がる環境を作っていきたい。 そのためランニングコストがかかるが企業メセナなど金銭的に期待する。基金を積むこともありえる。公と企業で協力が必要。
32	5月28日	市民会館	小ホールは平土間の箱型となっているが、市内には小さなグループが使える200～300席の施設がない。今度出来る小ホールは平土間ではもったいない。階段状の固定席にし音響効果のいいものにしてほしい。	中間報告では、小ホール形状を平土間としているが、これは、音楽、演劇、バレエ、コンベンション、展示と幅広く利用するため。 市内の既存施設には500席や800席の中規模ホールがあるので、役割分担としてここでは、大ホールと小規模のホールとした。 固定席については、創造館のロールバックチェア（移動観覧席）のような方式もあり、今後いただいた意見を踏まえて検討していきたい。
33	5月28日	市民会館	夢のある話であり是非実現してほしい。そのなかで、設計と建設については、市民にわかりやすくしてほしい。事前に説明して進めてもらいたい。 ホールも多目的になると芸術や文化がなくなる可能性がある。手順として市民が納得できるようお願いしたい。（意見・要望）	

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
34-1	5月28日	市民会館	運営について、学芸員は初めから参加させて専門職として配置してほしい。(意見・要望)	
34-2	5月28日	市民会館	収蔵庫は出来てから使えるまでに湿気などの問題で1年程あける必要があり、すぐ使えないことも考慮しておく必要がある。(意見・要望)	
34-3	5月28日	市民会館	開館後、絵画は買わなくても国宝級のものを借りることも出来るが、それには学芸員が必要で、3年くらい前から申し込む必要がある。(意見・要望)	
34-4	5月28日	市民会館	我々は市民有志の会を作っているが、運営面で市民有志やボランティアなどを使ってほしい。(意見・要望)	
35-1	5月28日	市民会館	市民を巻き込むことが必要。今は市民の認知度が低い。維持管理費と償還金を併せた額を6万世帯で割ると、世帯あたり12,000円の負担となるが、これをもっと明らかにして、今の市民会館と比べて何がどのように良くなるのか、具体的に示すべき。	今回の事業で、新たに負担が増えるわけではなく、全体事業の枠の中で費用を生み出していく。合併特例債などの有利な制度を利用し今の財政の中でやりくりしていくので、新たな負担増とはならない。
35-2	5月28日	市民会館	150億円の中身、土地代などは。	150億円については最大値として示している。土地についてもJTから買うことになるため、今後交渉して単価を決めていく
36	5月28日	市民会館	現在市民会館が建っているこの場所はどのようになるのか教えてほしい。	この場所は、史跡に指定されているため、木を植えるにも文化庁の許可が必要。そのため歴史に基づいたものしか出来ないが、ここは、武者だまりであった。武者だまりとは広場のこと。どのような広場にするかは今後、整備検討委員会を設置して検討していく。
37	5月30日	市民会館	私はクラシックが大好き。長野、松本にN響や小澤征爾が来るが、今の市民会館では無理。早く新しい市民会館を作してほしい。(意見・要望)	

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
38-1	5月30日	市民会館	年間3.4億円の維持管理費と起債償還の負担が心配。合併特例債を借りた場合でも大型事業であれば痛みが出るはず。現在の状況で出来るのか不安。代わりに何を削るのか。	借金はH15年度の835億をピークに、高い金利のものを優先的に返し、経費節減に努めて起債残高を減らしてきた。税込減も見込んで計算している。 また高齢者も増えてくる。これまでハード事業に年間70～80億かけてきたが、これを精査し55～60億に抑え、文化にもう少しお金をかけていく。 地域づくりや学校関係は引き続き行っていく。 このほか、人件費では187人職員を削減するが、これは、合併の効果として管理部門を集約化することで可能となっている。
38-2	5月30日	市民会館	将来負担比率が長野に比べて高いが、今後の推移についてどのように考えているか。	地方財政についての指標のひとつで、市の借金のほかに公社、3セク分を合わせた中で算定するものを将来負担比率という。それが現在138%という数字になっているが、今後下がっていくものと見込んでいる。
39	5月30日	市民会館	今日説明を聞いたこの理念で進めてほしい。私も美術館については念願していた。「育成」の面では子どもを育てることが書かれているが、「鑑賞」の面でも、子どもの作品を展示すれば、その家族が集まってくる。美術館は子どもの創作の場として考える。 山本鼎がやっていたことをもう一度やるべき。やさしい子どもになるには感動が必要。何とか実現してほしい。	ご指摘のように、大人の鑑賞、創作の場も重要だが、子どもの施設としても活かす視点が必要。 美術館が子どもにどんな機会を与えられるか。そこに新しい施設の意義がある。真田氏の歴史も含めて、偉人の作品、意思をどのように子どもたちに伝えるか、その点を大事にしたい。 また、その子ども達がこの地に誇りを持ち、東京等に出て行っても戻ってくる。そういう循環ができればと考える。「鑑賞」、「創作」の面を、どのように活かして、どのようにして人を集めるのか考えていきたい。
40	5月30日	市民会館	箱物を作ると後の管理が大変だと言う意見も多いが、しっかりしたものを作り、出来るだけ市民が利用することが重要。その収入によって施設の負担が減る。ホールの席数についても、1,500よりは1,700に近いものとし、早急な整備を望む。(意見・要望)	
41	5月30日	市民会館	子どもを育てることは大事だが、子どもは市外に出て行ってしまふ。経済的に考えると外部から人が来てもらうために観光コンベンションといった視点ももう少し広げて考えてほしい。 市民のまちづくりへの参画が必要。太陽光発電を市民ファンドで設置し、資金を出した人には毎年第9のコンサートに招待するなど、そのような仕掛けも必要。(意見・要望)	

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
42	5月30日	市民会館	<p>これまでコーラスで県内の施設を利用してきたが、運営スタッフによっては、二度と使いたくないと思う施設がある。利用者が便利に使えるよう、使い易いホールにしてほしい。</p> <p>大ホールより小ホールを一番使いたい。平土間のホールはどこにでもあるため、小さくてもいいからしっかりしたホールを望む。音楽村のホールこだまが良い。セレスホールの小ホールでは遠くから人はこない。</p>	<p>中間報告では、多目的ホールとして、音楽、演劇からコンベンション、パーティーまで対応できるように考えた。貴重な意見をいただいたので、交流会議室の位置付けも含めて改めて検討したい。</p>
43	5月30日	市民会館	<p>ホールを作るのは良いが、いかに使うかが重要。文化教育やスポーツにしても他の地域と比べて上田は水準が低い。具体的にどのように育てていくのか。育てるにはお金がかかるが、不況の時代には真っ先に切られるもの。育てる方向で進めるべき。</p> <p>次に蚕都上田として、先人がやってきた蚕糸の関係が上田にある。信州大学や丸子にも遺産として残っている。蚕糸博物館を設けるべき。</p>	<p>様々な課題があるが、その都度話し合っ決めていきたい。蚕糸の関係は博物館が長野大学と連携したプロジェクトを計画している。どういうものを残していくのか、しっかり考えていきたい。丸子博物館や旧西塩田小学校にも関連農具、器具があるが、一箇所に集中していくのではなく、笠原工業の繭倉、常田館、など子供が見て歩ける状態が良いと考える。総体的に考えていきたい。</p>
44	5月30日	市民会館	<p>「育成」について、都市の育成、中心市街地の活性化とあるが、具体的にどんなイメージを持っているか。</p>	<p>全体のまちづくりを考えている。中心市街地、駅を中心とした交通ゾーン、各ゾーンに分けて回遊性を持たせる考え。JT開発地、上田城、中心市街地と道路を設けてつなげていくなど、それぞれの特色を活かしていきたい。JT開発地はひとつの拠点、まちの一角と考えている。</p>
45	5月30日	市民会館	<p>17～24才の子を持つ母親。子どもは大学に行き、就職すると戻ってこない。若い人が戻って来れる町にしてほしい。</p> <p>子どもが音楽をしているが市民会館は音が悪いと言っていた。</p> <p>人材をどのように育てていくのか、設計者なども、若い人の力を活かせるよう公募してほしい。若い人の意見、新しい感覚を取り入れてもらいたい。(意見・要望)</p>	

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
46	5月30日	市民会館	<p>高齢者に十分配慮した施設とすべき。美術館は1回観れば十分となる。何度も観たいと思わせる内容であれば上田に人が来る。</p> <p>上田駅が直接文化施設につながることを望む。真田氏の野外彫刻などを活用すべき。</p>	<p>脱箱物的な考え方を持っている。魅力的なものにするためには、いかに住民が参画し行政とスクラムを組めるかがポイント。いかに特徴を出すか、しかし奇抜でなく、また身の丈という事も必要。それらの兼ね合いが大切。</p> <p>住民が愛着を持ち、何度も足を運ぶためにも、JT開発地にはテーマとして環境という視点を持ちたい。太陽光などは上田のシンボルにふさわしい。</p> <p>住民の皆さんには財政面の心配が多い。しかし、資料で示しているように、健全財政を維持しながら、一定の投資的事業も進めていく。これまで起債残高を減らし、市民負担の割合も減らしてきた。</p> <p>次に、若い人が地域にもどってくるには、新たな魅力を作る必要がある。そのためには人材確保、学芸員の力で例えば作品を貸借できるがそうした企画力が必要。若い人の感覚を大事にしていきたい。</p>
47	5月30日	市民会館	<p>このような施設をかねてから願っていた。感無量である。美術館は子どもからお年寄りまで何回も行きたくなるようなものとすべき。</p> <p>施設に斬新なデザインは必要ない。コストを下げ維持費を下げる。</p> <p>学芸員や館長は極めて重要。NPOなどを活用すべき。(意見・要望)</p>	
48	5月30日	市民会館	<p>9ページの配置図はホールと美術館が同じ建物に入っているが、景観的にこれらは独立させるべき。</p> <p>美術館には印象に残る美しさが必要。建物と屋外彫刻などが一体となり、子ども達の印象に残る、心に残るものとすべき。</p>	<p>9ページにあるものは、それぞれのつながりをイメージしたもの。検討委員会でもホールと美術館は全く異なるものとの意見がある。しかしお互い融合できるところはあり、例えば県展規模の展示を想定した場合、単独では難しいため、施設を相互利用することも必要。この点については今後さらに議論を重ねたい。</p>
49	5月30日	市民会館	<p>山本県の会には30名の会員がいる。これまで音楽会や講演会をセットでやってきた。現山本県記念館は今後どうなるのか。今のイメージを残すべき。県記念館での活動は素晴らしく、是非とも残していくべき。</p>	<p>市民会館の取り壊しは決まっているが、博物館や県記念館については、今後話し合いで決めていく。</p> <p>検討委員会での議論では、県記念館は新施設に移転し、その内容を全国発信していく考え。また、現記念館には収蔵庫がないため、大切な作品の保管が出来ない。なお、史跡内ということもあり移転が必要。</p>

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
50-1	5月30日	市民会館	文化と言う言葉がたくさん出てくるが、文化とはどんなものか考えを聞きたい。	「文化」の定義は難しい。人によっても捕らえ方が違うが、空気と同様に、なくてはならないものとする。 物質的な要望が満たされた現在、これからは精神的なものを癒す、これが「文化」の類ではないか。これをどのように向上させるのか、この機を捉えて皆で考えていきたい。 また行政としてどう向き合うのか、予算面では文化にかける割合が最大2.5%に変化する。文化にもっとお金をかけていきたいということ。
50-2	5月30日	市民会館	子どもを育てる文化環境づくりとして、学校教育の場ではどのように展開していくのか。上田は吹奏楽や合唱などが盛ん。あまり財政面ばかりを気にして、学校の大会もできないような中途半端なものにならないようにしてほしい。	全国規模の大会などにも対応できるよう考えたいが、財政面での検討と併せて規模を決定していきたい。 最近でも小学校の金管バンド、中学高校の吹奏楽が盛んだが、大勢の児童生徒を収容できる施設がない。出来るだけ大勢が入れる規模としたい。美術館では、参加体験型として考えた施設にしたい。
51-1	5月30日	市民会館	体験型の学習が出来るように。(意見・要望)	
51-2	5月30日	市民会館	諏訪の原田泰治美術館のように展示高さを調整して子どもや障がい者への配慮も考えてほしい。(意見・要望)	
52	5月30日	市民会館	JT開発地に何が出来るが知らない市民がほとんど。広報を見る人も少ない。市長の言うことと市民の考えには大きなギャップがある。もっとお金のかからない方法を考えられないのか。 例えば一中の跡地に美術館を作ったらどうか。そうすれば街中も活性化する。もっと皆の意見を聞いたらどうか。(意見・要望)	
53	5月30日	市民会館	市長の代わりに発言したい。今の上田市、この地区の文化は死んでいる。そのため、市長は選挙の時から文化施設をつくと7年前から言っている。広報も読んでいない人は少ない。議会でも作ることに賛成している。ここまで来て前に戻る発言はやめてほしい。(意見・要望)	
54	5月30日	市民会館	私は自治会の代表としていろいろなところで意見を聞くが、ほとんどの人は1日も早く作ってほしいと言っている。何年も前から計画され進んで来た。今だからこそやる必要がある。	

	月日	会場	質問・意見・提言内容	市で回答した内容
55	5月30日	市民会館	実際は150億と言っているがもう少しかかるのでは。48億だとしても市民に負担がかかる。もっと知恵を絞って考えるべき。(意見・要望)	
56	5月30日	市民会館	学習指導要領に鑑賞教育ということがある。東信では佐久市の美術館と小諸市の美術館、上田では美ヶ原高原美術館がある。 以前石井鶴三美術館を見せたら、目を輝かせて見ていた。子どもも生の素晴らしい作品はわかる。 個人的には松本市美術館へ行った際、子どもが小学2年生の時ルノアールを見て素晴らしいと言っていた。子どもが行きたくなるような美術館にしてほしい。(意見・要望)	
57	5月30日	市民会館	15年前から美術館建設は進まなくなった。最近またこのようになりうれしい。 美術館の場所は、駅から歩いていける場所でなければだめ。5月に創造館で東信美術展を開催し、178点を展示し2258名が鑑賞した。電車バスで行かれるところであればもっと人が集まる。(意見・要望)	
58	5月30日	市民会館	ホールにも美術館にも期待している。施設を作ることも大事だが、公園からJT跡地に歩道が必要。それぞれの点と点を結ぶなど、まち全体が歩きやすいような、そんな全体を見据えた計画を望む。(意見・要望)	

交流・文化施設のありかた市民公聴会 意見・要望用紙内容

	月日	会場	意見等
1	5月13日	真田公民館	この経済状況で本当に必要か。未来の子どもたちに負担を残して良いのか。
2			市民合意に基づく施設整備を進めるとしながら、公聴時間があまりに短い。
3			子どもたちの将来のためには他にお金を使うべき
4			今後、市民へのしわ寄せ(税金等)がどの位あるのか、最小限に止めてほしい。
5			国際会議等が開催できる施設となるのか、お金をかける程、人が集まる施設になると思う。
6			民間活力、企業メセナと言っても経済状況に左右されるため、ソフト事業の継続のため、寄付によるコンサート等を考えてはどうか。なお、寄付金は市民税の控除対象とする。
7			飯田の音楽祭や松本のSKFのような特色のある事業を考えてほしい。
8			特例債125億は他に必要な場所にも使うよう検討してほしい。
9			上田市民会館、真田公民館等との兼ね合い、住み分け、用途の違いがはっきり理解できなかった。
10			現在の財政状況からみて、現在つくるべきでない。
11			美術館とは、町の中に配置し、小規模を数か所つくるべき。
12			大きすぎて、使用する人がいないのではないか。
13			ランニングコストが多すぎる。
14			合併特例債は借金であるので、これに使うことはダメ。
15			障がい者席の高さを考えて、後の人が見えない。
16			バリアフリー化に努められたい。
17			敷地を含め、全館禁煙とされたい。
18			大ホールの客席は、通路も含め、余裕を持った設計をされたい。
19			客席には、プログラム等の資料を置けるようにされたい。
20			トイレは、洋式ウォシュレットとされたい。
21			「最少の投資で最大の効果」を基本コンセプトにしてほしい。厳しい時こそ、積極的に。
22	5月20日	武石公民館	狭くても内容が良ければ人は集まる。大きくても人があつまらなければ意味がない。
23			今までどおり公民館を借りられれば良い。
24			子どもたちに負の遺産を残さないように、既存施設の利用を検討しながら適切な規模としてもらいたい。
25			質の高い文化施設は絶対必要。市民に質の高い文化を提供する。県下でも一流と言われる施設に。
26			武石地域からのアクセスが問題。その点まで検討していますか？
27			東信全体を視野に入れているため、企画力の優れた文化的素養を持った人材の確保が必要。
28			はじめに施設ありき、とならない様に、子どもの将来に重荷とならない程度のエリアでよいのでは。
29			既存の施設の活用はどの程度なされているのですか？
30			ホール、美術館は市にとって必要な施設。良い施設を。
31			ホールはオーケストラが演奏できる、1500席以上、美術館は東京などから特別展示の会場となるように。
32			市に一流の文化が花開くよう期待している。文化にはお金が必要、運営にも必要な予算を確保してほしい。
33			子どもやお年寄りが集える施設を。美術館は入りやすい雰囲気作りにもお願いしたい。
34			交流・文化施設は必要な施設。ただイベントを大きく持たないと維持費が大変。
35			施設を有効に使用できるよう、設計時から考える必要を感じる。
36			買い物に行ったついでに休んでくれる、立ち寄れるような身近な施設であってほしい。

	月日	会場	意見等
37	5月20日	武石公民館	今まで松本や長野へ出掛けていたが老後は大変と思っていた。できるのを楽しみに待っている。
38			美術館は各となる世界的名画がなければ経営は難しい。ランニングコストを考えれば必要性を欠く。作品の展示は創造館や空き店舗などを活用すべき。
39			ホールは1,700席以上を希望。
40			早期建設を望む。
41			ともしび博物館には江戸時代の浮世絵が多くあるが収蔵庫がない。これらの保管も必要。
42	5月21日	上田市民会館	合併特例債やJ.T跡地がなければ難しいが、今の時代だからこそ交流・文化施設を作ってほしい。
43			計画どおり進めてほしい。
44			市民の会として有意義であった。今後とも市民に向け、理解されるよう努力したい。
45			参加者が少なく残念。もっと告知すべき。
46			この大不況の中150億も箱物に使うべきでない。市民の健康安全を考えた市政を。
47			中間報告に沿って進めてほしい。今後も適切な情報提供を要望する。
48	5月25日	上田創造館	駐車場400台は催しが重なったとき足りない。
49			管理運営をより効率的に行うよう、さらに具体的に検討を。
50			中間報告の概要は広報に出ている。この内容を既に知っている人は多いと思う。
51			長野、松本に負けない施設を。
52			エコの観点を取り入れてほしい。
53			経費について全市的な圧縮を図り、市民負担が大幅に増加することのないように。
54			大ホールは商業ベースで考えると2,000席が必要。
55			全体事業費から考えると美術館は不要。
56			関心のない人が多いとの意見があったが、広く市民に市の考えを浸透させ理解を。
57			自慢できる文化施設を。
58			中間報告は一読では理解できない。ダイジェスト版の作成を。
59			蚕都上田として、その博物館を。併設でも良いので。
60			大きなイベントが出来る施設を。上田では何もできないと言われぬように。
61			市民に直接意志確認を。投票する機会を作るべき。
62			多少の反対意見があっても文化芸術を大切にしまちづくりを。
63			小ホールはこだまホール程度のベンチシート、階段式の床を考えて。
64	使用する人だけの意見と言われると肩身が狭いが大いに期待している。		
65	5月26日	丸子ふれあい ステーション	丸子、真田、武石地域といった周辺部がますますさびれていくのではないか。
66			一回の説明では不十分。市民全員で判り易い方法を考えてから公聴会を。
67			各企業が稼げる方法を検討すべき。使う事のみでは片手不足。
68			郷土の文化人(歴史的)のコーナーを設置してほしい。
69			運営のありかた(丸子、真田、武石を含め)が今後の課題。
70			とにかく市民会館を一日でも早く移転してもらいたい。
71			他の大型事業もある。全体のバランスを考えて決定してほしい。
72			100億以下にすべき。少子化を考えると子どもの負担が大きい。市長の夢は夢のままにしてほしい。市長のためにも。

	月日	会場	意見等
73	5月26日	丸子ふれあい ステーション	新しい交流・文化施設に期待している。
74			周辺の交通渋滞等が予想される。その点も踏まえ整備を願いたい。
75			建物だけでなく、市民が使いやすい、利用しやすい仕組み作りを願う。
76			現市民会館の利用度から見れば、東信地区の吹奏楽コンクールのために1,500~1,700席にする必要はない。必要最小限の、機能的な施設を希望する。
77			地元出身の美術家がそれほどいないのには是非必要とは思わない。上田城の集客のためにも、石井鶴三、山本鼎記念館を修する程度でよい。
78			新しい文化の創造もだが、歴史ある文化と市民の生活を大事に。
79			施設は必要だが、財政を考え投資額を算出してほしい。
80			交通量対策が最重要。(大型商業施設も含めて)
81			小ホールは400~500席が良い。
82			中心市街地(商店街)との交流をしっかりと出来るように。
83			皆が楽しめる施設を望む。
84			丸子からは遠いイメージ。遠くでも行きたくなる様な施設に。
85			必要な施設かもしれないが、この不景気にこんなにお金を使ってよいのか。上田市が夕張市にならないようがんばってほしい。
86			丸子にも何か住民に必要な施設が出来れば不平等感がなくなる。
87	最初は緑地・広場に取り組み市民の目を向け、次に美術館、ホールを。		
88	太陽光発電は施設の目玉に。		
89	大規模な寄付制度(税制面を十分フォローする)。市民みんなでタッチする施設に。		
90	文化施設は必要。		
91	外観より機能を重視。		
92	文化協会加入団体は使用料無料はおかしい。たとえ冷暖房費だけでも払い学ぶことは当然。利用していない人に負担をかけている。有料にすれば意識も変わる。		
93	5月28日	上田市民会館	多目的の小ホールは難しい。使用目的を絞るべき。
94			音響重視の小ホールを期待していたため、平土間はショック。階段式の固定席を。
95			こんな時代だからこそ、後で市民の皆様にも良かったと思っていただけると思う。
96			報告書は素晴らしい。順調に進んでほしい。市長が、賑わいやソフト面を重視すると言ったことで、いろんな夢が湧いてきた。
97			運営にはボランティアであっても参加して、良い企画を実現したい。
98			舞台用に是非リリウムを用意してほしい。サンテラスホールにはある。
99			駐車場も是非増やしてほしい。
100			せっかくなら、一流のものを呼べる1,800席以上にしてほしい。
101			文化施設の建設は大変うれしいが、建設費、維持管理費は心配。
102			駐車場は最低でもキャバの半分は必要だが、複合施設なのでそれ以上必要。
103			大小ホールは両ホールの舞台を近づけ、同じレベルにして、楽器庫・倉庫は両舞台の間に配置すると便利。備品も節約できる。

	月日	会場	意見等
104	5月28日	上田市民会館	社会教育施設なので、学校教育の練習会場となるのはおかしい。
105			受益者負担を徹底してほしい。
106			最も簡素な施設とし、管理費を最小限に抑えること。
107			旧施設(市民会館等)の跡地利用を明確に。
108			市民に財政負担を求めないこと。
109			新ホールにおいても市内小中学校の使用料は100%減免としてほしい。
110			1団体に使用が集中しないように、使用申込方法を工夫してほしい。
111			市民が公募展に出品し、それを鑑賞できる展示室を。なお、照明は重視すること。
112			子ども達が創作体験できるワークスペースを。豊かな心の育成をめざして。
113			美術館の設計については、美術関係者の意見や要望を聞いてほしい。東信美術館、上小美術教育研究会など。先進的な美術館を造ってほしい。
114		大変良い雰囲気でき意見を聞いた。意見は検討委で研究し、プランに盛り込んでほしい。	
115	5月30日	上田市民会館	行政側の誠意ある説明は参加者にも理解されたと思う。今後も大きな事柄については市民との意見交流を。
116			反対意見が少なく非常に驚いた。非常に大きな予算を使うので、市民が意見を出せるような会議も必要。
117			郷土の大先輩、山極勝三郎、赤松小三郎等、子ども達も容易に理解できる常設展示を。観光客にも見てもらえるように。
118			参加や中高年が多い。学校を通してなど、若者の考えを吸い上げる必要がある。
119			整理整頓、清掃等、施設及び周辺道路も含めて当たり前のこととしてすること。
120			ホールは1,500席でよいが、オーケストラが演奏したくなるようなものに。
121			特殊技術を持った人々の技術を定年後にも活用できる施設を。
122			松本は文化の町という感じ、上田にも松本のような施設が絶対必要。
123			多くの市民が期待し、夢を描いていると感じた。自信を持ってやり遂げてほしい。
124			小ホールの整備については再検討したい。
125			太陽光発電や雨水利用など、エコロジーな施設に。
126			美術館の中に、創作部屋、水道などをひいた教室(汚しても良い)を
127			毎日、何かイベントや行事などのできる施設を希望する。
128			地域を良く知る設計建築スタッフなど、地元の企業を大事にして欲しい。
129			市民をどう巻き込むか、希望などを具体的に提示してほしい。
130			子どもを大切にと言うが、現実には市のこの様な考えと逆行している。教育の現場でも芸術の時間を独自に増やしていく。
131			施設の設計から運営まで、やる気、企画力、専門性のある若者の人材を公募。
132			50年先をみて文化芸術を育てる事を考えて。
133			養蚕で米えた土地、資料や物品等を多くまとめて公開できる施設に。
134			参加者が熱心に意見を言っているが、全体的には一部の人だろうか。
135	運用時の経済効果を考慮。観光、コンベンション等外部からの流入も重要。		
136	今回のチャンス(合併特例債)を活かした整備を。		
137	市民の後年度負担を抑制する上でも、健全な財政維持を。		
138	中間報告にある理念理想が実現できるような施設の運営を。		
139		身の丈にあった施設を。現市民会館の利用状況から、背伸びした施設はどうか。	

	月日	会場	意見等
140	5月30日	上田市民会館	上限150億は検討。建設には賛成。
141			既存施設の役割分担というが、使用が極端に減るのではないか。
142			人が育つ、まちが育つ、美術館の重要性を認識し是非建設を。
143			魅力的な施設を早く作って。
144			文化施設が具体的にできてきたことに嬉しさを感じた。
145			県民文化会館レベルの大きさに、地下は駐車場に。
146			美術館には是非多くの小中学生を連れて行きたい。東信濃の文化発信地として、子ども達が何度も足を運びたいような企画展を。
147			美術館がとても楽しみ。ホールにとって付けたような施設にならないように。子ども達が利用しやすいような配慮を。明るく、光がたくさん差し込む美術館に。
148			是非魅力のある美術館を。市民の公募作品を展示し、また有名作家の企画展も。
149			子どもたちの意見を聞く機会を。
150			若いお母さんや児童学生からも意見を。できるのはいいがあまり盛り上がっていない。
151			立派なものではなく、シンプルで、立ち寄りやすいものに。
152			梅野記念美術館ではツリーハウスを作る予定。そういうのも面白い。
153			山本記念館の活動は新施設でも下回らないように。史跡を外してもらい、記念館は改装すべき。
154			理解が進みよかった。勉強になった。
155			市の具体的な説明に感心。市長はじめ、市民の声を聞こうという姿勢。活発に意見がでて良かった。自分の意見も言えた。
156			施設費に150億というが本当に必要なことが。若い人でもお年寄りでも困っている人はたくさんいる。毎日の暮らしが少しでも楽になるように、地道な市民へのあたたかい市政を願う。